

# 園長室だより

令和2年度 第7号 (10月30日発行) 大阪市立立葉幼稚園長 岡林 朗子

先日の園長室だより(臨時号)に引き続き、読んでいただきありがとうございます。秋晴れの中、子どもたちは存分に外遊びを楽しんでいます。また、保護者の皆様が持ってきてくださっている素材に興味津々です。

容器やパックなど洗って、乾かして、持ってきてくださっているお手間に大変感謝しております。ありがとうございます。先生たちもそのことも重々承知し、お家の方の気持ちを受け、子どもたちに、物を大切にすること、友達と仲良く分け合うことも活動の中で気づけるように配慮しています。大切に使わせていただきますので、引き続きご協力をお願いいたします。

## ＜ トラックペイント ＞

9月30日発行第5号の園長室だよりでお知らせしましたが、トラックペイントを実施しました！こどもミュージアムプロジェクト協会から3名、木津運送から2名の方が来られ、なぜ、このような取組をするのかを、分かりやすく説明してくださいました。子どもたちもしっかり聞いていました。その後、それぞれ一生懸命、絵を描いていました。『安全運転してね』『気を付けてね』など言葉を添える子どももいました。

子どもたち全員(当日の欠席者も含め)29名の絵をトラックにペイントしてほしいと希望しました。トラックの台数などと相談し、できるだけ転写できるように努力しますとおっしゃってくださいました。また、トラックのお披露目会などにも子どもたちも参加したいことなど、前のめりに相談してみました。どのような形になるかわからないですが、積極的に参加していきたいと思っています。



## ＜最後のリレー遊び＞



## ＜運動会の激戦を彷彿とさせる興奮でした！＞

運動会終了後もりレー遊びで楽しんでいた子どもたちでしたが、最後にクラスでリレーをしていました。1回目終了し、次は順番を子どもたちでもう一度決めなおしています(中央写真)。ジャンケンしたり、相談したり…。そして2回目も応援に熱が入り、ドキドキワクワクの子どもたちでした。運動会当日に欠席だった友達も一緒にリレーができたことで、子どもたちは運動会とは違う満足感を味わっていました。

余談ですが、クラスを担任にしていると、次の作品展のことに気持ちが向かい、運動会の余韻を楽しむことができなくなってしまいます。でも、立葉の先生たちは、気持ちにもゆとりがあり、運動会後の遊びを充実させることができます。運動会が終わってから、変な緊張が取れて、自分の力を発揮したり、違う顔を見せたりする子どももいます。その子どもの変容を逃さず、自信につなげていきます。とても大切な援助だと私は考えています。

## ＜作品展での親子製作＞

作品展で毎年、自然物を使って親子製作をしています。しかし、新型コロナウィルス感染の危険を考え、締め切った遊戯室でしかも、たくさんの親子と一緒に密になって製作することが安全か…。ということで今、検討を重ねています。でしたら、こんなものを子どもたちと、先生で作り持って帰るのはどうかと、考え中です！

これがかわいいのです！！



紙に絵を書き、それをスキャンします。そして、転写シートに印刷して、そのシートをアイロンでマスクに貼り付けます。世界に1枚だけのマスクの出来上がり！また、このコロナ禍だけの限定品です。



ドングリに目玉をボンドでひっつけます。そして、ポスカでほっぺたと、口を描いて、ドングリの裏には、グルーガンでつけた画鋲が貼り付けてあります。家にあるコルクボードなどに役立ちます。

親子製作を実施できなければ、どのように取り組むのか、もう少し検討したいと思っています。お時間ください。